

佐渡昇段審査会寸評

コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに十分配慮した主管佐渡市剣道連盟の先生方のご協力により佐渡の昇段審査会を無事に実施することができました。先ずもってお礼を申し上げます。

初段受審者が10人、2段受審者が4人で合わせて14人の審査となりました。初段、二段の受審者はいずれも佐渡市の中学生及び高校生であります。実技については、着装、礼法、刃筋正しい切り返しや気剣体一致の打ちの基本動作は見事でした。二段受審者についても、剣道の基本を修得されおり、良好でありました。初、二段受審者に共通していることは、ムヤミに打つのではなく打突の好機での打ち、そして残心も怠りなく構えられていました。

日本剣道形については、打太刀、仕太刀とも自信をもって行っており、修練を積み重ねられたものと見受けられました。初心者に丁寧に正しく指導されている先生方の姿を想像させられました。したがって実技、日本剣道形及び事前提出の学科を含めて全員合格でした。

中、高校生14人の受審者でありましたが基本が忠実に身につけておりさらなる昇段を目指して継続いただき、将来は指導者として伝統ある佐渡の剣道の発展に寄与していただきたいと願っております。

審査会終了後、主任講師吉田仁教士八段の剣道具を着けた、基本技の実技指導の示範は少年剣士の臉に焼き付いて、さらなる修練のお手本になることと確信しております。

今年も三条市で指導者講習会がありました。熱心に受講されている佐渡剣連の先生方を拝見しました。自己の剣道の修養に努め、資質を高めて、伝統ある佐渡の剣道発展に寄与せんとする指導者としての心得に対し、本年も改めて深甚から敬服いたしました。

14人の昇段少年剣士も佐渡の宝であります。先生方のさらなるご尽力をお願いいたします。菊池会長はじめ佐渡剣道連盟の先生方のご協力ありがとうございました。

審査委員長 遠山正宣